



〈 ごあいさつ 〉

全国連絡会 代表 小山 和作
(熊本「新老人の会」会長)

2000年に日野原重明先生の手によって灯された「新老人の火」は全国に明るい光となって輝き続けてきました。先生の存在があまりに偉大だったが故に先生のご逝去は全ての会員にとって、また各支部にとっても大きなショックでした。しかし、悲嘆にくれてばかりいるわけにはいきません。それは先生の遺志でもありません。先生の最後の言葉は“Keep on Going”でした。

残念ながら幾つかの支部は解散したところもありましたが、殆どどの支部は独立して自立した団体としてこれからも日野原先生が掲げられた「新老人運動」を継承して前進しようと誓い合っています。基本的には日野原イズムの継承であっても、現実的に、具体的にはそれぞれの地域に合った活動となります。いやむしろ地域から沸き上がった活動と言っていると思うのです。

これからはそれらの経験や情報を持ち寄り、全国の同志・仲間としての絆を意識し、交流を深め、互いに連絡を取り合っていきたいと考えます。

先般の拡大世話人会の席上とその後の話し合いで図らずも、不肖私が代表をするようにとのことで非才を顧みず引き受けました。錚々たる副代表の方々がおられるのでよく相談しながら事を進めていきたいと考えています。 よろしく願いいたします。